



赤磐

平成26年3月議会 第36号

市議会だより



平成26年度当初予算 2P

3月定例会のあらまし 3P

委員会のうごき 8P

15人の議員が一般質問 11P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。

アドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html> (※赤磐市のホームページからもアクセスできます)

平成26年度は経常経費の削減と重点政策への優先予算

一般会計当初予算179億5,641万円（対前年：△18億2,236万円）

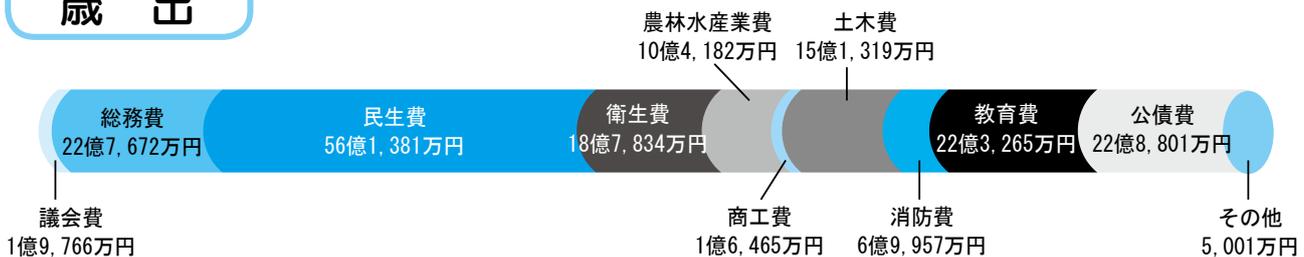
平成26年度予算は、総合計画や行財政大綱実施計画を踏まえたうえで、経常経費の削減に努める一方、重点事業へ優先して予算配分した予算編成となっている。

重点事業として「教育改革」「産業振興」「企業誘致」「市制施行10周年記念事業」の4項目を位置づけており、「教育改革」では小中学校への学習支援員の増員、「産業振興」では鳥獣害対策および農業後継者・担い手の育成、「企業誘致」では新規立地の積極的展開、「市制施行10周年記念事業」では10周年という節目の年に市内外へ本市の良さのアピールを行う。

歳入



歳出



会計別予算規模

会計名	26年度	25年度	増減	増減率
一般会計	179億5,641万円	197億7,877万円	△18億2,236万円	△9.2%
特別会計	123億4,206万円	116億9,662万円	6億4,544万円	5.5%
国民健康保険	56億1,051万円	51億7,467万円	4億3,584万円	8.4%
後期高齢者医療	4億9,287万円	4億8,064万円	1,223万円	2.5%
介護保険	39億8,731万円	37億5,497万円	2億3,234万円	6.2%
訪問看護ステーション事業	3,524万円	—	3,524万円	新設
簡易水道	2億2,997万円	2億7,437万円	△4,440万円	△16.2%
下水道事業	19億873万円	19億4,190万円	△3,317万円	△1.7%
宅地等開発事業	3,350万円	2,369万円	981万円	41.4%
竜天才オートキャンプ場	1,348万円	1,400万円	△52万円	△3.7%
土地取得	1,814万円	2,034万円	△220万円	△10.8%
財産区	1,232万円	1,205万円	27万円	2.3%
公営企業会計	11億4,745万円	16億9,524万円	△5億4,779万円	△32.3%
水道事業	11億4,745万円	10億1,949万円	1億2,796万円	12.6%
赤磐市民病院事業	—	6億7,575万円	6億7,575万円	廃止
合計	314億4,592万円	331億7,062万円	△17億2,470万円	△5.2%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が一致しない場合があります。

3月定例会のあらまし

議案審議

3月定例会を、2月27日から3月20日まで、22日間の会期で開催した。人事案件7件を同意、承認案件1件を承認、議案38件を可決、請願1件を採択、請願1件を不採択とした。また、議員発議の条例1件、意見書1件を可決し、意見書1件、動議1件を否決した。

条例改正

市営住宅条例

問 入居資格に配偶者暴力、ストーカー事案の被害者を救済するための条例改正だが赤磐市ではこういう事案は把握できて

答 いるのか。また、環境整備はできているのか。

答 昨年は2件程度把握している。被害者を守り保護する観点から関係団体が早急に組織で対応する体制を整えてある。

赤坂天然ライス

問 赤磐市と指定管理者の契約で途中解約の対応は。また、保証人はとら

指定管理

答 ないのか。

答 保証人まではとらないが、協定書で発生した場合の取り扱いを明確にしておく。

問 施設の修繕は業者の

意向に沿って市が行うのか。

答 施設の稼働に最低限必要なものは市が行い、

業者が必要なものは業者が行う。何もかも市が修繕するべきものではない。

25年度補正予算

一般会計

問 診療所費の2863万9000円の内容説明を。

答 和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合負担金の減額補正で、し尿投入量の減少と公園施設建設の償還金の終了で2103万円、浄化槽の汚泥処理が249万円、和気北部衛生施設組合のごみ処理施設の閉鎖に伴い、可燃ごみ量が約143トン減少したことで1999万9000円、浄化槽整備事業補助金で浄化槽の設置が予定数に達しな

答 新診療所の電話交換機設備工事費416万1000円、備品購入費2447万8000円である。

問 清掃総務費の4813万3000円の減額補正の内容説明を。

かったため461万4000円減額するものである。

問 農業振興費の2272万1000円の内容説明を。

答 農地はつらつ集積事業補助金で借受け面積が少なかったための116万円、戸別所得補償経営安定化推進事業補助金で取り組む農家が少なかったための665万円、イノシシ等防護柵設置補助金で地区からの要望が少なかったための308万1000円、新規就農総合支援事業補助金で13人見込みが9人となったため600万円、果樹生産振興事業補助金でぶどうハウスの建設等の取りやめで568万8000

円など事業費確定での減額である。

問 社会福祉総務費は、消費税増税による低所得者対策のためのシステム改良と思うが、対象者は赤磐市にどれくらいいるのか。また、通知方法はどのようなか。

答 消費税増税による低所得者対策として臨時福祉交付金と、子育て世帯の支援として子育て世帯臨時特例給付金の2種類の給付を平成26年度に行う。臨時福祉交付金は、推計で8500人。子育て世帯臨時特例給付金は、推計で6330人を見込んでいる。通知方法は、広報紙で周知したのち、全世帯に制度説明のパンフレットを送付する



予定である。

問 システムの導入費と保守料の内訳は。

答 マスター製作、帳票作成、審査システム等の合計を案分するので、導入費、保守部分がいくらというのは難しい。

下水道事業 特別会計

問 特環公共下水道費2363万2000円の繰越明許の詳細説明を。

答 千鉢雨水ポンプ場並びに調整池の用地費である。交渉に時間がかかり年度内の登記が出来ないために繰り越す用地補償費等である。

グ推進協議会の説明を。

答 地域医療に関して地域固有の課題を明確にして、長期的な問題解決に向けた対応を検討するものである。

①自分の健康を守る②地域医療を守る③医療連携の3つを柱に協議している。協議会を4回、作業部会を3回開催予定である。

問 在宅医療連携拠点事業の目的は。

答 医療ミーティングの柱の1つである地域医療、医療連携を具現化するために医師会・歯科医師会・訪問看護ステーション・医師会病院・ケアマネージャー・弁護士・薬剤師・栄養士・保健所・社会福祉協議会・包括支援センター等が連携ネットワークの構築を目的として7回の会議等を予定している。

問 一般廃棄物集積場所の施設整備並びに焼却委託料の説明を。

答 施設整備については、場所整備5件、金網かご10基、収納庫3個、修繕4件の計22件、30

8万円を予定している。

また、焼却委託料は、赤磐市環境センターの稼働に伴い、(株)日本管財環境サービシスに運転操作監視・定期点検・保守点検・機器等の清掃業務等を委託する3709万6000円である。

問 農作物への被害防止の取り組みは重要である。イノシシ等防護柵設置補助金の内容は。

答 電気柵が3万2500m、トタンが10000m、ワイヤーメッシュが1万2500m、ネットが1000mを予定している。

問 今後、英国庭園はどのように改善、運営を行うのか。

答 地元の区長を中心に、平成25年6月に熊山英国庭園活性化委員会が設立された。市と協働で英国庭園の発展、活性化のために企画等の取り組みを進めている。

問 商工費の事業企画立案業務委託料の詳細説明を。

答 日本酒・ワイン・地

ビール・米粉製品・パン・桃・ぶどう等の赤磐市の特産品の開発と販路の拡大を図るとともに、地域活性化を図ることを目的とする事業である。様々なアイデア・企画を実現性のある事業にまとめることで、より効果的な事業展開が図れると考える。

問 乳幼児医療費が前年と比べて減額されているがなぜか。

答 平成25年度の実績見込みを参考に予算計上した。減額については、医療機関への適切な受診等が行われたと考える。地域等の協力を仰ぎながら、今後も小児救急医療電話相談(＃8000)事業等の活用啓発に努める。

問 商工振興費が前年と比べて大きく減額されているが。

答 平成25年度で終了する住宅リフォーム補助金の事業費2002万円の減額が大きな要因である。

一般会計

26年度予算

問 人権啓発費として958万7000円が計上されているが、人権宣言は制定されるのか。

答 世界の人権宣言、日本国憲法、赤磐市総合計画、市民憲章等々の基本的な考えを参考に、また、人権教育推進委員会、人権擁護委員の意見を聞きながら宣言文を作成・制定する予定である。人権

問 地区集会所新築等工事補助金575万1000円の説明を。

答 コミュニティ活動、災害時の避難場所等として活用を図りながら住民自治の振興、福祉の向上に寄与することを目的として、集会所の新築、改築、修繕等に対して各地域に交付する補助金である。

問 地域医療ミーティン



問 市制10周年記念事業委託料の1000万円の説明を。

答 地域ブランド等の発信のための企画提案を募集する。例えば、キャッチコピー、ロゴマーク、ブランドブック、市勢要覧、プロモーションムービーなど。持続的な市のPRのための費用。

問 新規就農総合支援補助金の説明を。

答 経営の不安定な就農初期段階に1年あたり150万円、最長5年間給付する。26年度見込みは継続9人、新規9人の計18人としている。

問 自主防災組織への活動支援事業補助金の説明を。

答 213万円の内、防災士の養成事業183万円。残り30万円は自主防災組織の河本、桜が丘西5丁目、桜が丘西6丁目の3組織へ10万円を上限に補助する。対象は、発電機、強力ライト、給水タンク、ビニールシート

等。

問 山陽ふれあい公園の指定管理により、シルバーの雇用が解雇されたと聞いているがどうなのか。

答 現在はシルバー人材センターの雇用が約60人。今回テニススコートの管理人は、シルバーへの委託業務を止めるため3人が解雇された。

問 老人クラブ補助金、敬老会助成金の事業内容の説明を。

答 老人クラブの昨年4月1日現在会員数は5503人で、前年と同額の805万8000円を計上している。21年度と比べ会員の減により、64万円ほど削減している。

答 敬老会助成金は1人あたり25000円の単価で6850人分、1712万5000円を計上している。27年度から減額の理解をお願いすると共に、制度の抜本的見直しを検討する。

問 吉井のライスセンターの修繕費1058万4000円について、当センターには2千数百万円の蓄えがあると聞いているが、その蓄えを修繕費に使わないのか。

答 今回のシステム修繕費等で必要な修繕料の3分の2は、このセンターに負担してもらう。

問 花火大会に800万円からの費用をかけることについて、価値があるのか。

答 たくさんの人が花火大会を楽しみにしている。昨年は、地域の協賛金が以前より倍以上集まった。今後も市民の声を聞きながら実施していく。

国民健康保険 特別会計

問 高額療養費が前年比約3500万円増となっているが説明を。

答 高額医療の病気の主なものは、心疾患、がん、透析など。26年度は急激

に医療費が伸びた実績のため、3億5390万4000円を計上している。

問 保健衛生費の普及費はジェネリック医薬品の通知サービス予算も含まれているのか。

答 26年度事業で、ジェネリック医薬品の差額通知の委託料として、387万7000円を計上している。

現在の処方薬をジェネリック医薬品に切り替えた場合、薬代がどれくらい軽減できるかを通知するもので、国保全体の医療費の削減につなげることを目的とする。

簡易水道 特別会計

問 28年度までに水道事業への事業統合を計画しているとのことだが、これによりどのくらいの経費節減になるのか。

答 国からの指示によるもので、これにより高利率の借入債の借り換えができる等有利なため事務

を進めている。

下水道 特別会計

問 赤坂地域の下水道事業を早期に着手することについて、財政上問題ないのか。

答 さわめて厳しい財政状況なので、投資効果の高い地域を中心に、適正かつ効率的な整備促進を進める。

問 赤坂地域の下水道を早期着手することによる下水道事業会計の長期見通しについて、勉強会をすることは考えていないか。

答 下水道運営審議会の答申を担当委員会で説明する。

問 公共下水道の施設管理委託料は9700万円だが、ごみ処理施設の管理委託料は約5000万円。同じメーカーが請け負っているが、人件費が、下水道は常時1人分。ごみは常時9人分である。

ごみの管理料が低すぎないか。適正な管理ができるのか。

【答】施設が異なるので、比較は難しい。適正な額と考えている。

委員会条例の一部改正を可決

今回赤磐市議会では、委員会条例の条文中の委員会を所管等を改正する条例を発議し、可決した。



次のとおり同意しました。

固定資産評価審査委員会委員

木津 恒良（斗有）
野田 博

（桜が丘西7丁目）
橋本 信洋（西窪田）
鈴木 基久（可真下）
荒島 修治（平山）

【任期】

平成26年5月19日～
平成29年5月18日

教育委員会委員

内田 恵子（沢原）

【任期】

平成26年5月20日～
平成30年5月19日

杉山 高志

（桜が丘西5丁目）

【任期】

平成26年3月24日～
平成29年9月15日

反対討論

議第26号 平成26年度一般会計予算
議第27号 平成26年度国民健康保険特別会計予算

市民の生活は物価の値上がり、消費税増税、医療費の引き上げなどの一方で、収入は増えず大変苦しい状況となっている。国保税の引き下げ、住宅リフォーム助成制度の継続、子育て支援策としての高校生への通学費補助など、厳しい財政でも夢が持てる施策が必要である。よって、もっと市民に夢と希望が持てる予算を組むべきであり、命や暮らし応援の政治を求めて反対する。

議第26号 平成26年度一般会計予算について

（特別職の給料について）

議会は合併より定数を8人減らし、約8000万円の削減を行っている。市長としても給料を削減することが必要ではないかと考え反対する。

賛成討論

議第19号 平成25年度一般会計補正予算
議第26号 平成26年度一般会計予算

一般会計補正予算の中身に、儉約に努めた結果の3億5000万円という財政調整基金への積み増しがあり、これを高く評価している。

また、新年度一般会計予算についても、担当部署で説明してもらい疑問に思っていたことが理解でき、期待ができるということで、賛成したい。

請願

請願第1号 特定秘密保護法廃止の意見書提出を求める請願
【不採択】

【要旨】政府の判断で都合の悪い情報が秘密となる。国会議員の国政調査権を侵害する。国民の知る権利・報道の自由を侵害し、国民の言論・表現の自由も奪われる。さらに、広く国民が監視されプライバシーが侵害される恐れがあるため「廃止」の意見書の提出を求める。

【賛成討論】秘密の範囲は全て政府の一存で決められ、際限がなく、何が秘密かは国民には知らされない。

国民の知る権利を蹂躪するこの法は、国民主権の原則を踏みにじるものであり、憲法違反であり、日本国憲法と国際人権規約に反するのは明確であるため廃止を求めて賛成する。

請願第2号 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願
【採択】

発議

手話言語法制定を求める意見書

【可決】

【要旨】手話は聾者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られてきた。

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、手話を言語として普及、研究することの環境整備に向けた法整備を国として実現することが

必要であると考えます。よって、国においては手話言語法を早期に制定するように求めます。

【意見書提出先】 内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣、内閣官房長官、衆議院議長、参議院議長。

「河野談話」を再検証し、新たな談話の発表を政府に求める意見書 **【否決】**

【要旨】 海外からの批判のもととなっている慰安婦問題は、日本人の名誉にかかわる問題であり、一日も早く真実を明らかにしなければなりません。

そこで、当時の官房長官であった河野洋平氏を国会に参考人として招致し、いわゆる河野談話の発表に至った経緯やその根拠を明らかにすることを強く要望する。

動議

いわゆる100条委員会の正当性を検証する事を求める動議 **【否決】**

【要旨】 今回の動議は、いわゆる100条委員会の調査事実の再検証を求めるのではなく、100条委員会の調査方法と手続き及び証言の法的裏づけなど、調査の中身が法の基準を満たしているかを検証するため、外部の有識者による第三者委員会を設置する事を求めるものである。

平成26年3月第1回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	佐々木雄司	光成良充	澤 健	保田 守	丸山 明	治徳義明	原田素代	金谷文則	行本恭庸	松田 勲	北川勝義	福木京子	佐藤武文	岡崎達義	下山哲司	実盛祥五	小田百合子	
同意第6号	赤磐市教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて平成25年赤磐市一般会計補正予算（第5号）	承認	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	—
議第15号	和気北部衛生施設組合の共同処理する事務の変更及び和気北部衛生施設組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議第16号	和気北部衛生施設組合の共同処理する事務の変更及び和気北部衛生施設組合規約の変更に伴う財産処分について	可決	○	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	—
議第26号	平成26年度赤磐市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議第27号	平成26年度赤磐市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第1号	特定秘密保護法廃止の意見書提出を求める請願	不採択	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
請願第2号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願	採択	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第1号	「手話言語法」制定を求める意見書	可決	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第2号	「河野談話」を再検証し、新たな談話の発表を政府に求める意見書	否決	○	○	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	—
動 議	いわゆる100条委員会の正当性を検証する事を求める動議	否決	○	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—

○ = 賛成 ● = 不賛成

※小田百合子議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

総務文教 常任委員会

3月12日に総務文教常任委員会を行った。
議案13件および請願1件について審査した。

条例改正

市バス運行に 関する条例

問 乗継券について詳細説明をして欲しい。

答 市民病院の診療所化により、医師会病院など下市方面へ向けての市民バス「松木・下市線」が新設される。この条例は、市民バスから市民バスに乗継ぎを行う使用者に市民バス乗継券を発行し、乗継券を使用した場合の使用料を100円とする改正である。つまり、新診療所から赤磐医師会病院へ行く新路線で乗り換えがあり計400円になるため、乗継券を発行し計300円に軽減するものである。なお、乗継券は発行当日に限り有効とし、再発行および他人に譲渡することはできない。

市職員の給与に 関する条例

問 国などへの職員派遣を想定しての改正だが、具体的にどこに派遣予定か。

答 国としては、中国四国農政局を予定している。それ以外では、県・一部事務組合等が考えられる。

26年度 一般会計予算

問 35人学級等教育改革事業について説明して欲しい。

答 市内の小学校において全ての学年が35人以下の学級になるように、市費で先生を任用する。3年生、4年生は県費の先



約40人の児童が勉強する教室（25年度）

また、地域振興基金を活用して学校施設の雨漏り対策・トイレの洋式化・遊具改修・幼稚園の空調設備・山陽郷土資料館空調設備・吉井B&G海洋センターの改修工事を実施する計画である。

問 市制10周年記念事業委託料をどう考えているのか。

答 委託料等1500万円については、10周年を契機に継続的に今後赤磐市の活性化や幅広いPRができるように、赤磐市の地域ブランドの魅力を全国に発信できるように業務の企画提案書を募集して実施するものである。内容はキャッチコピーやロゴマーク、市勢要覧などの印刷物やホームページを活用して、赤磐市の知名度を図っていく。また、定住フェアを含めて色々なキャラクターやプロモーションをからめて



赤磐市長特別奨励賞を受賞した福田廉之介君

福田廉之介君 バイオリンの 国際コンクール で優勝

問 桜が丘中学2年生の福田廉之介君が、バイオリンストにとつて大変名誉ある大会の「メニューイン国際コンクール」のジュニア部門で優勝をした。大変な快挙である。については、市長表彰すべきと考えるがどうか。

発信していくものである。

問 海外訪問団派遣事業（ニュージールランド研修）について27年度からやめるとのことだが、継続すべきと考えるが。

答 26年度は実施する。27年度は1人当たりの派遣単価・派遣人数・行財政改革を総合的に検討し、難しいという方向である。

問 総務使用料で桜が丘いきいき交流センターの使用料が320万円ほど

しか計上していない。いつ行っても使っていると、思うが、少ないのは減免などがあるためか。

答 施設使用料として296万円、トレーニング機器の使用料として30万円を見込んでいます。登録グループの方がメインで使っており、登録グループは使用料免除で冷暖房費も格安になっているので歳入が少ない。

厚生 常任委員会

3月13日に厚生常任委員会を行った。
議案11件、請願1件について審査した。

25年度 一般会計 補正予算

問 臨時福祉給付金について確認をしたい。

答 消費税の引き上げに伴う対策で、市民税を課税されていない人に申請により1万円を支給する。手続きは6月以降になる予定。

26年度予算 一般会計

問 予算全体を見て市長の施策が後退しているように思うがどうか。

答 医療に加えて介護分野も含めた予算の検討をしている。また、今後子育ては重点項目として支援の充実を実現する。



市民診療所工事現場

問 「地域医療ミーティング推進事業」「在宅医療連携事業」「医療体制の懇談会」それぞれの説明を。

答 「地域医療ミーティング事業」は地域の課題を明確にして対策を考えるもの。「在宅医療連携事業」は、住み慣れた地域で住み続けるために医療と介護のサービスをど

のように提供するか専門家が集まって検討している。「医療体制を考える懇談会」は、熊山と北部地域の医療を検討するものである。

問 山陽老人福祉センターは耐震診断と屋根の修繕を一度に並行してやるのか。

答 今回交付金もあり、屋根の修繕と改修補強工

事は、福祉避難所としても使えるものとする。

問 こども子育て支援事業計画策定委託料についてどのよう

に使うのか。
答 年に4〜5回の策定委員会をやる。国が基本指針を示してくるので市の意向や委員の意見



医療懇談会

を聞いて、コンサルタントが集約する予定である。

答 桜が丘清掃センターと赤坂環境センターについては使用することを考えていないので、地元と協議しているが、最終的に解体撤去の予定である。

問 環境衛生補助金について説明を求めます。

問 環境センターの公園管理は、どうするのか。

答 地域で自主的に清掃事業、害虫駆除などに対して1自治会に対して3万円と1世帯300円を加えて支出している。

問 滞納分の徴収状況についてどうか。

答 新しい施設の公園等の芝刈り、植栽の剪定は津崎地区への委託を優先的に考えている。足湯の管理は、焼却施設の中で管理する予定である。

問 滞納分の徴収状況についてどうか。

答 毎年2回の催告書のほかさまざまな手段で対応している。併せて給付の縮減策も考えている。

問 赤磐市民診療施設勘定
医師2人の体制はい

つかからできるのか。

答 医師1人の体制になったが、現在医師の確保に努力しているところである。

問 旧施設の維持管理はどのようになるのか。

問 滞納分の徴収状況についてどうか。

答 現在の常勤の

医師は1人で、派遣で循環器の医師1人に週2回来ていただいている。鍼灸の医師の応援もあり、診療の状況を見守っているところである。

国民健康保険 特別会計

問 滞納状況について説明を求めます。

答 年金の年額が18万円未満の人が多く、徴収率を11・5%としている。

問 介護予防事業はどのような事業を行っているのか。

答 現在認知症の予防教室、通所型の「お達者塾」を各地で開催している。

訪問看護ステーション 特別会計

問 新規事業として利用者の見込みはどうか。

答 1カ月に70人の利用者を見込んでいる。

〈佐伯北・是里診療施設勘定〉

問 診療が多く多忙と聞いているが、現状はどうか。

答 現在常勤の

産業建設 常任委員会

3月14日に産業建設常任委員会を行った。
議案16件について審査した。

スマートコミュニ ニティ基金条例 の制定

問 一般的に基金はどのように管理されているのか。

答 国債などを活用している。

問 第2条に寄附金の規定があるが、この寄附金というのは具体的に何か。

答 桜が丘東1丁目のメガソーラー設置にあたり、協定書を交わしている。年間の売電金額の2%をスマートコミュニティ構想に資することに充当して欲しいという協定を結んで寄附を受けるようにしている。今後20年間賃貸借契約を結んでいることで売電金額の2%は継続して入ってくる。

市営住宅条例 の改正

問 市営住宅の入居者の資格で、DV等の加害者の要件を配偶者以外の交際相手にも広げることだが、DVについて具体的にどのような手続きになるのか。

答 通常、市営住宅には単身での入居ができず、募集についても公募によるが、DV等緊急を要する事案であれば被害者に対して入居を優遇するものである。

問 赤磐市の住人であれば市営住宅の場所がわかってしまうのではないのか。

答 県営住宅を中心に取り組みがさ

れると思っている。市営住宅においてもそういったケースを受け入れる事ができる処置と考えるも

赤坂天然ライスの 指定管理者の 指定

問 指定管理者を指定した後、今後の修繕の予定は。

答 修繕については冷凍庫・冷蔵庫・エアコン・トイレ・浄化槽等があり、今後点検し洗い出す。

問 地域食材供給基金はいくら残っているのか。

答 平成24年度末で759万6645円である。

問 修繕については市としてどこまでやるのか。

答 基金はあるが修繕個所は必要最小限に抑えたい。

問 途中でやめた場合ペナルティは考えているのか。

答 指定管理者の責めに帰すべき事由によって継続が困難となった場合は指定管理の取消または一定期間の業務停止を行えるようにしており、その際市に生じた損害について賠償を請求することができるとしている。

26年度 一般会計予算

問 松くい虫の防除事業はいままで続けるのか。効果があがると思

おり、今のところは継続したい。

問 吉井のライスセンターの改修費1058万4000円について、ライスセンター運営委員会の負担はどのくらいか。

答 3分の2にあたる705万6000円を運営委員会に負担してもらう。

問 3分の2の根拠は。

答 過去にライスセンターの修繕をしたときに3分の2を負担してもらったことから、今回も負担をしてもらう方向で話している。

問 25年度は問題なく使えていたのか。

答 25年度は使えたが、故障したら修理ができないとの話があり、今回改修の予算を計上している。

問 観光費で高倉山の桜の植栽費が計上されているのが、桜を植えるのか。

答 高倉山の桜が衰退しており、再生を図りたいとい



赤坂天然ライス



高倉山の桜

う要望が高倉山植林組合からあった。

問 高倉山のどこに植えるのか。

答 西山植林組合の敷地で、以前クレー射撃場があった所に植える予定である。

問 公園の遊具の撤去や修繕はどのように考えているのか。

答 遊具については定期的な点検および必要に応じた修繕をしていく形を作りたい。今のところ点検と修繕については、地元で管理してもらい、その費用について市として補助していきたい。

一般質問

市の考えを問う

15人の議員が登壇し市の考えをたどしました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。



問 交流センターにコーディネーターを置くべき

答 研究したい。地域要望が盛り上がる必要あり



澤 健 議員

問 桜が丘地区に公民館を欲しいという多数の市民の要望がある。行財政改革を進める中で公民館建設はすぐには難しい。そこで、交流センターに、公民館的機能を持たせるために地域コーディネーターを置き、人と人、団体と団体をつなぎ、さらに趣味のグループを地域貢献するグループに誘導することが大切だ。

答 今後研究したい。交流センターにコーディネーターを置くには、その要望が地域で盛り上がる必要がある。市職員とOBが地域活動することの奨励について

問 桜が丘地区で見ると市OBが町内会長や民生委員をしていない。また、市職員も青年部や学校支援ボランティアに参加している人知らない。市として市職員やOBに地域活動を積極的にすること(以下「同施策」と言う)を奨励して欲しい。

答 まちづくりの専門家である市職員やOBが同施策をすれば、協働が進み、住みやすい地域になる。具体的には、次の3つをして欲しい。

1. 市長が同施策を推進することを明確にする。
2. 協働推進課の施策として、同施策を強力に推進し進める。
3. 同施策推進を明確にするため、市職員に定期的に地域活動のアンケートをとる。



7月オープン予定の新診療所工事現場

問 平成26年度予算で新診療所は1.5億円の赤字である。この経営改善のビジョン(事業計画書)の作成が必要である。

答 本年6月末を目標にビジョンを作成したい。

表紙のひとこと 茶臼山城址にて迫力ある演武を見せる鉄砲隊

早足に桜の季節もすぎで、つつじが美しく咲く4月13日(日)に城山公園祭りが開催されました。城型展望台前の広場では、火縄銃を手にした甲冑(かっちゅう)姿の備州岡山城鉄砲隊が整列し、放った鉄砲の轟音が山々に響き渡りました。

眼下に広がる周匝平野をはじめ美しい自然に囲まれた中で、歴史を肌で感じる良い機会となりました。

問 小・中学校の現状脱却、35人学級の実現を

答 小学校では26年度より全学年で可能となる



光成良充議員

学校現場の現状を踏まえた35人学級の実現を

問 赤磐市の教育課題の解決のためには小学校4年生以上の学年でも35人学級の実現が必要ではないか。

答 きめ細かな指導の重要性を認識しており「子どもは赤磐市の宝」プロジェクトの取組を実施することにより、当面は市独自の財源で35人学級を実現する。今後は県にも働きかけていく。なお、35人学級を編成した学校においては学力の定着状況、学級満足度等さまざまな観点からその成果を検証していく。

問 桜が丘中央の再開発と交差点の改良の進捗状況はどのようになっているか。

答 中央部の再開発は地権者の人々の理解を得られるよう鋭意努力している。交差点の改良は岡山県において設計業務を行い、図面ができ次第、地元協議を行い公安委員会と交差点協議を行う予定である。

問 通学路の安全安心のために、危険個所の対応についてどのように対処していくか。

答 関係機関との連携を行い、判明した危険個所は改善要望を提出している。国の通学路安全推進事業を受け、学校、地域、警察、道路管理者で通学路安全推進委員会を設置し、合同点検を計画している。大学の専門家のアドバイスももらい、交通安全教室を実施する。

問 赤磐市の教育課題の解決のためには小学校4年生以上の学年でも35人学級の実現が必要ではないか。

答 きめ細かな指導の重要性を認識しており「子どもは赤磐市の宝」プロジェクトの取組を実施することにより、当面は市独自の財源で35人学級を実現する。今後は県にも働きかけていく。なお、35人学級を編成した学校においては学力の定着状況、学級満足度等さまざまな観点からその成果を検証していく。



26年度より実現した35人以下の教室

問 PM2.5に対する観測体制とその対策は

答 県設置測定局からの情報把握に努め注意を喚起



金谷文則議員

問 県からの情報を待つからでなく、市民の安心・安全を守る観点から、自前の観測機を設置し、我々のところが大丈夫なのかということ、市民に知らせる必要があるのではないかと。ごみ処理施設が新しくできており、そこから出る物も併せて赤磐市で測定し、市民にわかってもらえる努力が必要だと思いませんか。

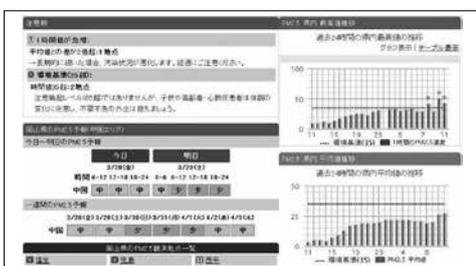
問 微小粒子状物質の話がマスクミで多く取り上げられている。その代表的なものがPM2.5だ。中国からの厄介者のプレゼントとして頻繁に取り上げられているが、大気汚染物質とともに、PM2.5に対する赤磐市の観測体制と、その対策についてどうか。

答 大気中に漂うPM2.5という微小粒子状物質による新たな健康への影響が懸念されている。市は、岡山県設置の大気汚染物質の測定局の情報把握に努め、汚染情報発令時には速やかに関係課と連携し、保育園、学校等へ情報提供し注意喚起を行っている。

検討課題としたい。「財政健全化のため」にみんなどんな死に狂いで努力してきたか」について

問 財政健全化アクションプランは、事業の廃止や削減のみとも受け取られる。収入を上げてもらいたい。市職員・議員も含め赤磐市のセールスマンと考え、霞が関や県企業など隅々まで回るべきだ。市のエキスパートであった退職幹部を再雇用し、専従で全国を回って貰ってはどうか。

答 それぞれの場で有効的にPR活動を進め、しっかりと売り込んでいく。



*岡山県のPM2.5情報ホームページ

問 防災と避難所対策の見直しを

答 避難所開設訓練を行う



松田 勲議員

内での防災啓発・訓練等を行うときの情報提供が円滑に行えるようにする。

避難生活の中では、ボランティアが心の安らぎを提供できるようピアノを設置するなど前向きに取り組んでいく。

いじめや暴力対策、教育の環境改善について

問 前回の議会質問に対し「教育の改善については、35人学級に向け新年度予算を編成していく中で最大限努力をしていく。いじめや暴力対策は、辰沼小学校のキッズレスキューのようなものを前向きに研究していく」と言われたが、具体的にどのように進めていくのか。

答 モデル校は平成26年度中に選定し、地域とも連携していく。修繕は、担当者が要望

問 公共施設での誘導と対応マニュアル、防災士の育成と活動はどうか。
また、避難場所では芸術等も大切であるが、マニュアルにもあるのか。
答 避難所開設訓練も行っていく予定である。避難所での対応マニュアルは、3月中には完成する。
防災士認証登録者で赤磐防災士連絡協議会(仮称)を設立し、防災訓練への参加や自主防災組織

のある学校全てを回り、優先順位を決めていく。
ふるさと納税を積極的に

問 新たな財源・ふるさとの特産品のアピールにと積極的に取り組む自治体が増えている。商工会とも連携をと

り、赤磐市出身の人々に広くアピールしてはどうか。

答 名称を「ふるさと赤磐応援寄附金」と変更し、3万円以上の寄附者に対し特産品を送料込みの5000円程度で贈呈している。ホームページ、ふるさと納税専用サイト等で利用促進を図っていく。



消防署の防災ルーム

問 太陽光発電で地域活性化へ

答 今後、必要に応じて検討



実盛祥五議員

を民間会社を利用してもらう取り組みを始めてはどうか。

答 あかいわスマートコミュニティビジョンのコンセプトに基づき再生可能エネルギーの普及拡大を図り、大規模災害時の避難場所となる小・中学校の必要最小限のライフラインを確保するための電力供給システムを官民共同で構築することをビジョンの中で明文化している。今後必要に応じて検討する。

県道岡山赤穂線の交通量緩和のため市道の拡幅を

問 現在、熊山工業団地も全ての区画が埋まり、和気町のヤクルト工場

の操業が始まると、ますます交通量も危険度も増加することが予想される。和気橋から山陽自動車道の下まで、吉井川右岸堤防の道路を拡幅し、県道岡山赤穂線の交通量を緩和するバイパス道路の整備を要望するがどうか。

答 本路線は国土交通省から占用を受けた市道であるが、拡幅となると国土の協議等が必要になる。県道岡山赤穂線の交通安全対策についての改良は今後、県に対して強く要望していく。また和気町とも連携しながら検討していく。



吉井川右岸(熊山橋付近)

問 アンテナショップの利用策は

答 有効な利用策を検討していく



保田 守議員

問 岡山県と鳥取県が共同でアンテナショップ開設の準備を始めるということだが、もらった資料を見て、東京の知人に場所などの確認をしてもらったところ、場所が人通りの少ない所でアンテナショップには向いていないという連絡があった。赤磐市は現地調査をしたのか。また、全体の予算と赤磐市としての利

答 用策の考えはあるのか。現地調査はしていないが、両県の食材・食品・特産品の販売、観光や移住等の説明等、首都圏の情報収集や販路開拓等の支援をするものである。両県全体では、年間賃貸料は約1億6600万円で、赤磐市の負担額は年間30万円程度、期間は5年間の予定である。賛否

問 桜が丘西の街路樹があまりにもひどい剪定状況で切られていた。復活するのに4、5



桜が丘西9・10丁目の街路樹の剪定状況

答 5年ほどかかると思う。担当課ではどのような指導をしているのか。

答 指摘のあった桜が丘西9・10丁目の街路樹については、大型車両の進行の支障になることや、毛虫の大発生もあり思い切った剪定をした。今後は木の樹形や樹姿等も十分考慮しながら管理に努めたい。

叙勲受章者を表彰しては

問 秋の叙勲を受けた人が赤磐市にも数人いる。今後叙勲を受けた人を、感謝を込めて表彰してはどうか。

答 叙勲という大きな章を受けているので、市から改めて表彰状を授与することは差し控え、広報紙で紹介させてもらえればと考えている。

問 入札への議員の圧力はなかったか

答 入札は適正であった



原田素代議員

問 新ごみ処理施設の管理委託業務の入札について、昨年の9月、12月議会にわたって、特定議員の圧力ととれる発言があった。「美作とか近隣の市町村じゃその業者は悪いというて排除されとります」「いつ議員に相談があったんだ」「〇〇に決定したら中止させる」「など業者名を挙げて、執拗に排除させるよう発言をして、結果そのとお

答 入札、契約の提言には該当しないと判断しており、適正な執行である。

問 市の作成している管理委託業務の仕様書では、「保守点検業務」は建設メーカーを呼んで行うこととなっている。市の見積予算では、1800万円だが、業者の見積もりは約200万円台。9分の1の低価格で、仕様書通りの業務が出来るのか。また「業務管理費」「技術経費」「清掃料」などは市の見積もりは約440万円、640万円、230万円なの

答 業者の経営努力の結果である。今後は低価格入札調査制度を検討する。

問 赤坂地域の下水道計画はできたのか

答 赤坂地域の下水道計画はできたのか

問 赤坂地域の下水道計画はできたのか



未だ下水道の通らない赤坂地域

問 四季折々の花が楽しめる 英国庭園を望む

答 地域の熱い思いに支援が できればと強く思う



行本恭庸議員

問 小野田地区区長会を中心とする英国庭園地元活性化委員会が設立されたことは有意義なことと思う。素晴らしい計画案が出てくることを楽しみにする。英国庭園の維持管理費を増額しないと立派な庭園にならない。1年を通して入園者が訪れる、四季折々の花が楽しめる庭園を望む。市長の考えは。

答 英国庭園の入園者数は年々増加しており、平成24年度には3万5000人以上を迎えている。今年度から地元が中心となり熊山英国庭園地元活性化委員会が設立された。地元の熱い思いを強く感じている。活性化委員会と連携して楽しいイベント等を開催し、入園者の増加に努める。周年楽しめる季節の花々については、英国式庭園の位置づけを検討し取り組んでいきたいと思う。いずれにしても、地域の熱い思いで管理運営している英国庭園にできる限りの支援ができればと思っている。

問 熊山英国庭園をどのような庭園と考えているか。イベント事業を充実させることもよいと思うが、散策しても30分程度で終わるような規模であ

る。規模を広げる考えはあるか。駐車場は3カ所あるが、県道沿いの駐車場を整備する考えはあるか。庭園入口前の旧農協の建物(市所有)を駐車場や農産物直売所にすることも考えられる。活性化委員会の協力を得て、地域活性化に努力してはどうか。

答 とにかく今は財政状況も厳しい折である。地域の人々が熊山英国庭園に対し懸命に努力して、地域内外の人が訪れて楽しめる交流の場、楽しみの場になっていることは事実である。英国庭園を長期に活用することが必要と考える。活性化委員会と相談して将来像を決めていく。



英国庭園で行われたコンサートのようす

問 市議の所有地を必要が無いのに公費で購入したとして、赤磐市が告発し、不起訴となった元副市長ら3人が、名誉を傷つけられたとして市に対し損害賠償を求めている裁判で、赤磐市は岡山地裁に600万円の損害賠償を命じられた。昨年12月27日の臨時議会です市長は控訴したいとして控訴議案を提出しながら否決の後、「控訴の提起につ

問 市長は本当に本心から 控訴したかったのか

答 控訴に必要な議決を 得るため、議会に諮った



丸山 明議員

問 議会による百条委員会の調査では、元副市長の証言は「交差点の改良の必要がある」と思い購入を指示した。地元区長は「区民から改良の要望はまったくない」現状とはいえ購入時のまま土地は放置されている。報告書の結論によれば「この2件の土地の買取りは、違法不当な公金の支出と言わざるを得ず直ちに返還請求すること」を求めるとある。市長はこの不要な土地の購入につ

いて議員の皆様には適切なるご決定をいただきました」と挨拶したが、市長は本心から控訴したかったのか。

答 控訴の提起については、熟慮した結果、今一度、高等裁判所の判断を仰ぐことが妥当であると考え議案を提出した。



周囲の交差点の土地

問 不要な土地の購入に對しての告発は、たとえ不起訴になっても名誉を毀損する不法行為ではない。詫びるなら市民に対してではないか。

答 私としては、判決結果を真摯に受け止めるほか無く、また、原告にご苦勞をおかけしたことは紛れも無い事実です。

て、公共の利益に合致した正当なものと考えているのか。

問 広域保育の拡充の 推進をすべきでは

答 広域連携を 検討していく



治徳義明議員

民の読書への意欲を高める効果があると考えられるが、③アクションプランでは28年度図書館の指定管理を目指すとしているが。

問 保育ニーズは多様化しており、保育行政のさらなる充実が必要である。岡山市等との広域保育の拡充を推進すべきでは。

答 同じ考えである。広域連携を検討していく。
問 最も身近な学習、情報の発信拠点として図書館の役割は重要である。更なる読書環境の充実に取り組む必要がある。① Web図書館の導入は② 借りた本の履歴を目に見える形で残すことは、市

答 ①調査研究を行い、導入時期の検討をする②自分で読書手帳を作成できるシステムにする③財政負担の軽減や多岐にわたる図書館サービスの向上が目的である。岡山県内一番といわれる図書館を目指す。

問 障がいの有無にかかわらず社会生活や社会参加の機会を平等に得られる社会、ユニバーサル社会のより一層の推進が必要である。①代読・代筆支援は②障がい者の移動支援を通学まで広げるべきでは③身体内部に障がいを持つ人のためにハート・マークプラスの駐車スペースを設けるべきで

は（本庁舎等）。
答 ①研究する②速やかに検討する③配慮していく。
問 山陽団地の再生・活性化は最重要課題である。①検討委員会の設置は②県営住宅について県にどのような要望をしているのか。また、市に移管の話があるのか③旧若草幼稚園施設の今後の活用は。

答 ①諸要件が整理できた後に立ち上げる②山陽地域全体の魅力が向上し、定住促進に資する有効な土地活用できるようにお願いをしている。また、県から移管の意向があるが、慎重な検討が必要である③地元のニーズにあった有効活用をする。

問 行財政改革審議会は、3年間で6億円の削減を答申したが、どんなまちを作るのか、と一体で進めるべきだ。物価高など住民負担増の一方、年金や賃金は増えない。下水道料金等値上げはすべきでない。子育て支援では、高校生への通学費補助等力を入れよ。

答 住民負担の軽減は多くの財源を伴う。高校生の通学費補助は今後最適な方策を考えていく。35人学級は市独自の財源で



旧若草幼稚園

問 住民負担の軽減、 子育て支援に力を入れよ

答 行財政改革とともに、 小学校の35人学級実現



福木京子議員

実施する。行財政改革で財源を生み出していく。

住宅リフォーム助成制度の継続を

問 3年間実施しての検証は。景気の回復が中小業者には及んでいない。市民に喜ばれ地域経済に大いに役立つなら継続すべきだがどうか。

答 3年間で市民の住宅リフォームへの投資を喚起し、建築関係者等の仕事や雇用が確保され、工事総額は約4億4000万円、補助金額は約3550万円で、経済効果はあった。期限付きの事業なので終了する。

熊山地域住民の公共交通の充実を

問 市民病院が廃止



住宅リフォーム後の台所

されるが、熊山地域から医師会病院への公共交通の充実はどうなっているのか。

答 5月1日から新規路線の松木・下市線を運行開始する予定である。

問 住民は毎日の買い物ができるお店と老後の福祉施設の充実を望んでいる。もっと力を入れて進めてもらいたいと思うか。

答 持続可能なまちづくりを目指し検討している。民間力を活用するなど模索しながら検討していきたい。

問 吉井の医療体制の具体案は

答 考え示せずお詫びする



下山哲司議員

が。

答 懇談会の初回を1回開催したにとどまっているので、今考えを示せないでお詫びする。

問 市外の他の市長に、佐伯北診療所を動かさなれと言ったと聞いています。口が軽いにも程がある。無責任な言動は困ります。

答 赤磐の医療体制を考える会で、個人の考えとして、今の吉井の体制をベースに考えていくべき。したがって佐伯北診療所の移転を考える状況でないと言った。あくまで個人の意見で、決定ではない。

市民との対話を大事にしている。要望を聞き、対応し、また参考にしていく。

問 自分の都合のいい人だけを呼んで対話しても



佐伯北診療所

だめである。それは対話ではなく選挙運動ではないか。
答 選挙の絡みは一切ない。

市長としての1年間

問 市長としての1年間について、業務内容・思い・判断は良かったのか。

答 赤磐市民病院のあり方について、話し合いをしながらめどを付けた。

また、業務・財政の把握・分析を行った結果、大胆な行財政改革が必要と判断し、一般財源で6億円削減効果を目指したアキシヨンプランを策定した。それを反映した26年度予算を編成した。

問 成長戦略関連の商工予算が少ないのではないかと

答 国と連動・連携して国の制度活用に努めていく



佐々木雄司議員

に取り組んで行くもので①歳入増加を目指したものの②市役所組織や機構の見直し③事務事業の見直し④検討実施が遅れている公の施設の見直し⑤企業・特別会計などの見直しの5項目を市役所だけではなく議会・市民の協力をお願いして行っていく。

問 実入りを増やす成長戦略はどうするのか。

答 優良企業などの誘致を進め雇用の確保に努めていく。農業分野については農産物の産地化やブランド化を積極的に進め、海外に向けた販売も戦略的に進める。

問 成長戦略関連の商工予算が少ないのではないかと。

答 農政については国の政策が大きく転換する時期にきている。国の政策

関連の詳細が分かり次第連動し、国の制度等を活用して補正予算などで追加対応していく。商工関係については、商工会等と連携し、商工観光の策を築き、対策していきたい。

問 青少年問題対策について、過去のワースト評価をどのように活かしているのか。

答 赤磐市の将来を担う青少年の健やかな成長は直面する喫緊の課題と考えている。現在の新たな対策として①赤磐警察との連携を強化しての健全育成の取り組み②問題傾向の強い生徒については規範意識が向上するボランティア活動教育等を利用して、自己有用感を育てる取り組みを行っている。



市議会の議場

問

佐伯北診療所を中心とした医療体制について

答

訪問看護ステーションの設置を検討する



北川勝義議員

周辺整備をすべきだがどうか。

①赤磐医師会・歯科医師会・保健所・自治会など17人で構成②赤磐市全域を対象とした訪問看護ステーションを整備する。

特別養護老人ホームについて、吉井地域での開業は可能か。

広域型は赤磐市内全域だが、地域密着型(29床以下)は地域指定が可能であり、今後高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定の中で検討する。

赤磐市の医療について①地域医療ミーティングのメンバー・進捗状況について②新熊山診療所

者を増やしていく。

行財政改革アクションプランについて、一律削減ではなく、知恵を絞るべきだと思いがどうか。

必要な事業にめりはりを付け、企業誘致・未利用地の貸付等財産収入の増など取り組んでいく。

再生可能エネルギーをどのように推進するか。

小水力発電や太陽光発電施設等、再生可能エネルギーの有効活用に取り組んでいく。

転入者増加の施策は何か。

赤磐市の地理的優位性や住みやすさなどの魅力を最大限アピールしていく。



混み合う佐伯北診療所の外観風景

問

商業施設の開発はやる気があるのかないのか

答

魅力あるまちづくりに向け今後も努力していく



佐藤武文議員

特産品の直売所が一向に進まない理由は何か。

無くてはならない施設なので、ぜひとも実現したい。

山陽インターを活用した行政効果が果たせていない。

交通の結末点としての優位性が認められた。

下水道の完成のめどはいつになるか。

整備計画を早期に立案し、説明責任を果たす。

門前・桜が丘西浄化センターの跡地をどうするの。

地域に有効な活用方法を検討したい。

赤磐市が発展するため、非常に重要な区域と位置づけている。魅力あるまちづくりに向け今後も努力していく。

これからの赤磐市をどのように導くのか職員の人材育成をどう

のように取り組むのか。

重要なポストに女性の登用をすべきである。

国や他の団体への研修派遣、女性の登用も含め人材育成に取り組む。

公約の実現は結果が求められる。これからの赤磐市をどのように導くのか。

財政の健全化を図り、事業を選択と集中により実施し、市民の期待にこたえていく。

教育改革は

反省の念に立ち、オール赤磐で教育改革に取り組む必要があるのではないか。

赤磐の教育と行政と学校現場、地域一丸となつて改善していく。

桜が丘西浄化センター跡地



桜が丘西浄化センター跡地

議員人権研修会

人権研修会が2月3日（月）に開催され、議員14人が出席した。

岡山県立岡山盲学校非常勤講師の竹内昌彦氏より「私の歩んだ道々見えないから見えたもの」という主題での講演が行われた。

最初に、目が見えないまま竹内氏が68年間生きてきた中で、目が見える人に対するお願いとし



とともでありがたいという事を教えていただいた。次に竹内氏の自己紹介があり、小学校1年生のとき目が見えないことによりいじめられたことがとても辛かったが、学校に行かなかったら負けたことになるし、目が見えないことで心

て、初めての場所や新しい仕事は慣れるまで時間がかかるので気長に待つてほしいということ、点字ブロックの上に物を置かないでほしいこと、話をするときは名前を言っでほしいこと、困っている視覚障がい者を見かけたら迷わず声をかけてほしいことなどが挙げられた。

また、目が見えない人を道案内するときの方法を実演され「どうぞ右手につかまって下さい」と言って先導してもらえ

配をかけている親をまた心配させてしまうと思いい、これ以上心配をかけるものかと学校に行き続けたことを話された。また、竹内氏は常々子どもたちに「自分の命が自分ひとりだけのものと思うな」と教えており「目が見えなくなり命にかかわるような病気をし、親がどんなに悲しみ苦しみ悩み困ってきたかを見てきたから言える事です。見えないからわかった事です」と、子どもに対する親の思いというものを強く述べられていた。最後に竹内氏の3つの願いとして、①優しい声を誰かにかけることのできる人でいてほしい②子どもたちに「ありがとう」と言ってもらってほしい③自分を犠牲にしても周囲の人に幸せや喜びをあげることができるようになり、しっかりと勉強してほしい、ということを訴えられた。議員として、障がいを持つ人の社会参画のために何ができるのか考えさせられる研修会であった。

議会を傍聴しませんか!!

本会議、各委員会は一般に公開され、どなたでも自由に傍聴することができます。市政の動きや議員活動を知るためにもぜひ傍聴してください（本会議：定員30人、各委員会：定員10人）（※ルールを守った傍聴をお願いします）。

また、休会中の委員会の日程については、赤磐市議会のホームページに記載しております。

本会議については、インターネット上で配信を行っております。また、市役所本庁舎1階市民コーナーにもモニターを設置してありますので、どうぞお気軽にご覧ください。



議会配信の様子



車イス用の通路（本会議場）

ご自宅のパソコン等を使ってインターネットによる本会議配信をご覧になれます。

アドレス：<http://www.city.akaiwa.lg.jp/gikai/gikai-live.html>

ぜひご利用ください。



山下浩史
議員逝去

赤磐市議会議員の山下浩史氏が、平成26年2月9日に急逝されました。

故山下議員は平成14年3月に旧吉井町議会議員へ初当選以来、旧吉井町および赤磐市の議会議員として連続4期、約12年間の永きにわたり地方自治の発展に寄与されました。

また、産業建設常任委員会委員長、下水道整備等調査特別委員会委員長等の要職を歴任し、氏の豊富な経験と卓越した識見をもって、地方自治の振興、地域の発展、住民福祉および教育文化の向上に多大な貢献をされました。

赤磐市議会では、山下議員のご逝去を悼み、2月27日の本会議で黙とうを捧げました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

インターネットで本会議配信と 本会議・委員会会議録がご覧になれます



【本会議配信を見る方法】

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「本会議配信」と開いていく。

【本会議会議録を見る方法】

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「本会議会議録」と開いていく。

【委員会会議録を見る方法】

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「委員会会議録」と開いていく。

【インターネットの動画配信・会議録について】

※ インターネットでの本会議録画配信は、平成23年6月 第3回定例会以降のものとなります。

※ インターネットで検索できる会議録は、平成20年3月 第2回定例会以降のものとなります。

※ 委員会会議録は、平成25年2月以降に開催されたものとなります。

【本会議会議録の冊子について】

※ 市内の図書館（中央、赤坂、熊山、吉井）においては今までどおり冊子の会議録を閲覧できます。

6月定例会 のお知らせ

次回6月定例会は、6月9日から6月27日まで19日間の会期で開催予定です。
多くの皆様の傍聴をお待ちしております。

編集後記

合併して9回目の春を迎え、新緑の美しい季節となりました。

平成25年4月に7人でスタートした広報編集委員会も1年が経過しました。市民のみなさまに読みやすく、わかりやすい「市議会だより」の作成を心がけて参りました。いかがでしたか。

今後も、議会で行われている内容をより一層身近なものとして感じていただき、ご家庭の話題にのぼるよう、紙面に工夫を凝らして、より読みやすく、わかりやすい、広報編集に努めて参ります。これからの「市議会だより」にご期待ください。

議会広報編集特別委員

- 委員長 丸山 明
- 副委員長 澤 健
- 委員 岡崎 達義
- 委員 原田 素代
- 委員 治徳 義明
- 委員 保田 守
- 委員 光成 良充